

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	5	予算小事業コード	5	事業名	高津区放置自転車対策事業		
事業所管課	高津区道路公園センター管理課		担当者	山口精司	連絡先	833-1221	
関係局(局区連携事業は記載)	建設緑政局自転車対策室						

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去自転車収容のための保管所整備。新たな自転車等放置禁止区域指定(二子新地駅周辺)に向けた駐輪場施設の確保。
事業概要	区内における鉄道駅を中心に放置自転車を防止し、安心して住みやすいまちづくりを推進する。自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上実施するとともに、整理誘導員による駐輪場施設への誘導と放置駐輪に係る警告を行ないます。また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等の普及啓発を行なう。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	694,000	決算額	466,653	不用額	227,347
不用の理由	路面シールの図案調整に時間を要したため。				
事業目標	自転車等放置禁止区域に指定されている5駅(溝口駅・梶が谷駅・高津駅・久地駅・津田山駅)を中心に、放置自転車等の撤去活動や広報・啓発活動を行う。また、二子新地駅周辺区域の自転車等放置禁止区域の指定を視野に入れ、より効果的な放置自転車等防止対策を実施する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	放置禁止区域の計画的な撤去活動と放置駐輪防止対策を継続して行う。新たな放置禁止区域指定に向けた、駐輪場施設の確保に係る調整を行います。				
事業目標を達成する上での課題等	駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去自転車収容のための保管所整備。新たな自転車等放置禁止区域指定(二子新地駅周辺)に向けた駐輪場施設の確保。駐輪場施設の確保、及び撤去した自転車等を収容するための保管所整備。				
実績	放置自転車クリーンキャンペーンとして、駅前商店街にて広報・啓発を2回行った。 平成25年12月現在の撤去自転車等の台数は、撤去用トラック3台体制で、6,177台。合計の撤去台数は、平成24年12月時点(撤去用トラック3台体制で、7,933台。)に比べ減少した				
協働の視点	放置自転車対策には、鉄道事業者、地元商店街、地域住民など関係機関との協働が不可欠であり、今後も連携を密にして、放置自転車減少のための活動に取り組んでいく。				
環境配慮への視点	放置自転車等を撤去することにより、安全な歩行空間や緊急自動車等の通行確保を目指している。				
取組の成果	区内における鉄道駅を中心に放置自転車を減少させ、安心して住みやすいまちづくりを推進した。自転車等放置禁止区域内の放置自転車を午前・午後とも週4日以上撤去した。自転車が放置されにくい環境をつくるため、カラーコーンや路面シール等の設置により、現場での放置防止対策を実施するとともに、整理誘導員の活用による駐輪場への案内誘導も行った。				達成度 <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	■見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する <input type="checkbox"/>
	区内における鉄道駅を中心に放置自転車の状況を把握し、安心して住みやすいまちづくりを推進します。自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上、引き続き実施するとともに、整理誘導員による駐輪場施設への誘導と放置駐輪に係る警告を行います。また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等の普及啓発を行ないます。二子新地駅周辺については、自転車等放置禁止区域の指定に向け、関係機関との調整を行います。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	5	予算小事業コード	10	事業名	高津安全・安心まちづくり支援事業		
事業所管課	高津区役所 地域振興課			担当者	飯塚・青柳	連絡先	861-3146
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>根絶することのない犯罪から身を守るため防犯意識を高めるよう啓発活動を実施する必要がある。</li> <li>区内で起こっている犯罪情報を迅速に情報提供する必要がある。</li> <li>防犯関係機関との情報共有と連絡調整を密に行なう必要がある。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯啓発活動として、警察と連携と連携してキャンペーンを実施する。</li> <li>交通安全に対する意識を高めるため、警察と連携をしてキャンペーンを実施する。</li> <li>区民による自主的なパトロール活動である高津防犯パトロール隊(TBP)へ、ベスト等の活動用品の貸与を行う。</li> </ul>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	703,000	決算額	684,607	不用額	18,393
不用の理由	契約差金				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民が防犯意識を高めるような啓発活動を実施すること。</li> <li>区内で起こっている犯罪情報を迅速に情報提供すること。</li> <li>防犯関係機関との情報共有及び連絡調整をすること。</li> </ul>				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2～3回程度の防犯キャンペーン。</li> <li>防犯パトロール隊活動報告会及び宮前区との合同パトロールの実施。</li> <li>ホームページを利用した犯罪情報の提供。</li> </ul>				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪防止、交通事故の根絶するためには、区民に絶えず意識してもらいが必要であり、そのためには、キャンペーンや行事を頻繁に行い、考える機会を与え続けなければならない、たゆまぬ継続が必要あること。</li> </ul>				
実績	防犯キャンペーンは4月に1回、11月に1回警察等と共同で実施した。8月、9月は単独でキャンペーンを行った。防犯パトロール隊活動報告会は1月に約130名の参加者を集め開催。また、宮前区との合同防犯パトロールを警察署と共同で2月に行い、150名の参加者がキャンペーンとパトロールに分かれ啓発を行った。				
協働の視点	安全で安心なまち高津の実現という共通の目的のもと、活動用品の購入や貸与は区役所が行い、実際のパトロール活動は協議会及びパトロール隊が行うなど、役割を分担し事業を行っている。				
環境配慮への視点	パトロール実施にあたり発生したゴミ等は必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。また、啓発品を簡易包装のみとした。				
取組の成果	協議会とともに支援を行ってきた結果、防犯意識が高まり防犯パトロール隊は、前年度よりさらに1団体増え、現在までに100隊に増加した。また、活動報告会や合同パトロールには数多くの隊員が参加し、互いの隊の連携や情報の共有化を図ることが出来た。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	パトロール隊に活動用品の貸与を行うなど団体の支援を継続して実施していく。また、隊相互の連携と情報の共有化を図るため、活動報告会や合同パトロールを引き続き実施する。高津警察より通知される防犯情報を活用し、地域に情報提供を行う。

## 1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	15	事業名	交通安全の普及啓発事業		
事業所管課	高津区役所危機管理担当			担当者	飯塚・青柳	連絡先	044-861-3147
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学児童は、交通ルールに慣れていないため、交通事故にあう危険性があり、交通事故防止の対策が必要である。</li> <li>・交通事故減少のために継続的な広報が求められている。</li> <li>・交通事故防止は普段の心がけが必要となり、日ごろから交通安全の意識を高める必要がある。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の交通安全意識が高まるよう啓発活動を継続的に実施する。</li> <li>・各交通安全団体で連携し、効果的な活動を実施する。</li> <li>・新入学児童に交通安全の啓発活動を行う。</li> </ul>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	447,000	決算額	437,550	不用額	9,450
不用の理由	契約差金				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の交通安全意識を高める。</li> <li>・各交通安全団体で連携し、効果的な活動を実施する。</li> <li>・新入学児童に交通安全意識を高めさせる。</li> </ul>				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故防止のため、毎月、各地区にて監視所を設置し、歩行者や通過車両への交通安全の呼びかけるなどの、交通事故ゼロを目指す日キャンペーンを実施する。</li> <li>・区内の各小学校の入学式において、各交通安全団体と連携した親子への啓発物の配布により交通安全を呼びかける。</li> </ul>				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故減少のためには継続的な広報が必要。</li> <li>・交通事故防止は普段の心がけが必要なので、日ごろから交通安全意識を高める必要がある。</li> </ul>				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学児童への啓発活動として、高津区交通安全対策協議会の構成団体との協力・連携のもと入学式に出席する親子に啓発物・チラシの配布を行うとともに、交通安全について呼びかけを行った。</li> <li>・4月から12月まで毎月街頭監視を行い、通行人に啓発品を配布しながら交通安全を訴えた。また、春夏秋冬の各期に交通安全関係機関と連携し、駅前においてキャンペーンを実施した。</li> <li>・高齢者への呼びかけも行い、区の敬老会の集まりで啓発活動を行った。</li> </ul>				
協働の視点	啓発品の調達や関係機関との連絡調整は区役所が行い、キャンペーン活動そのものは交通安全各団体員が行うなど、役割を分担し事業を行った。				
環境配慮への視点	交通安全キャンペーン実施にあたり発生したゴミ等は、必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。				
取組の成果	すべてのキャンペーン、街頭監視において関係機関の長や構成員の多数の参加があり効果的に交通安全の啓発を実施することができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今後も交通事故ゼロを目指し、より効果的なキャンペーンになるように検討し、引き続き実施していく。 また、小学校・保育園での交通安全教室においても、交通安全啓発のキャンペーンを活用し、教職員、ボランティア父兄等とともに、児童だけでなく地域全体の交通安全の意識向上を図る。啓発品は人目を引くだけでなく、交通事故の未然防止に役立つ品を取り入れる。中学生等を対象に交通事故の恐ろしさを実感できるスクエアドストレイトを取り入れた交通安全教室を行っていく。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	20	事業名	地域防災力向上事業		
事業所管課	高津区役所危機管理担当			担当者	並木・柿木	連絡先	044-861-3146
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の被害を軽減するために、行政の災害対策強化だけではなく、各家庭における備えや、地域住民団体による防災活動の活性化が不可欠である。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ひとりひとりの防災意識の醸成・高揚を図るため、自助二家庭単位での備えについて直接区民にアピールする啓発事業を実施する。</li> <li>・実施にあたっては、区の「安全・安心まちづくり」の観点から、危機管理担当で所管する防災・防犯・交通安全をテーマとし、各家庭での心構えや住民意識の大切さを伝える。</li> </ul>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	993,000	予算額(調整後)	2,315,000	決算額	2,309,999	不要額	5,001
不用の理由	契約差金 (高津区子ども・子育て情報発信事業費から 188,000、高津区区政情報発信事業費から 405,000、高津区防災まちづくり推進事業費から 47,000、高津区地域資源ネットワーク事業費から 682,000をそれぞれ流用)						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭での災害に対する心構えと住民意識の大切さを直接区民にアピールし、区民の防災意識の醸成・高揚を図る。</li> <li>・平成25年度に改訂する区地域防災計画を広く周知すること。</li> </ul>						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの区民へのアピールが可能となるような場所や内容を検討し、啓発イベントを実施する。</li> <li>・啓発事業については、自宅での備蓄や家族の連絡手段など、家庭単位での大規模災害への備えについて、分かり易く興味を引く形で、来場者及び通行者にアピールする。</li> <li>・区防災計画についてはホームページによる周知の他、冊子を制作し、各関連機関等に広く配布する。</li> </ul>						
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策の基本である「自助力・共助力の向上」</li> </ul>						
実績	8月24日(日)に区内で最も多くの通行がある武蔵溝ノ口駅南北自由通路やペDESTリアンデッキを活用し、防災・防犯・交通安全に係る啓発イベント「たかつ あん☆あんフェスタ2013」を実施し、およそ3,000人の区民に対し、各家庭での災害や犯罪に対する心構えや住民意識の大切さをアピールした。また、第4期区民会議の提言を受けて、避難所単位の防災マップを作成し、自主防災組織や避難所運営会議で活用した。さらに、区防災計画の改訂にあわせ、ホームページによる周知のほか、冊子を作成し各関連機関等に広く配布した。						
協働の視点	啓発事業の実施にあたっては、消防・警察はもとより、安全・安心まちづくり協議会や自主防災組織連絡協議会、高津区防災ネットワーク会議などの関連団体に協力を仰いだほか、女性の視点を取り入れる観点から、男女共同参画センターや市内NPO法人との連携のもと行った。また区地域防災計画は、関係機関、地域団体等へ幅広く配布し、防災対策を協働で行うための情報を共有する。						
環境配慮への視点	実施に係る企画書、運営手順書、報告書などは再生紙を利用した。区地域防災計画冊子には再生紙を利用した。						
取組の成果	大震災の経験や、巨大地震の想定などを通じ、確実に防災意識が高まっているこの機を捉え、家庭単位での備えについて広く啓発するとともに、行政及び町会や自主防災組織の活動への理解を深めてもらうことで、参加者に自らが地域防災の担い手であるという自覚を醸成できたことは、区全体の地域防災力向上につながった。また、避難所単位の防災マップを活用することで、防災意識の高揚と地域の実情把握に寄与した。さらに、区防災計画の改訂にあわせ、計画の内容を広く周知したことにより、区民、地域団体、関係機関等の防災に対する意識醸成が図れ、地域防災力の向上につながった。						達成度  <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民向け啓発事業については、効果的により多くの人への啓発につながるよう今年度の結果を検証しながら、時期や場所、内容について再度検討し、実施する。(事業の枠組みとして「地域防災力向上事業」から「高津区防災まちづくり推進事業」へ集約し、地域防災力向上事業は終了とする。)</li> <li>また、避難所単位の防災マップや区防災計画については、今後変更の時期を捉え、改訂や周知を実施する。</li> </ul>

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	30	事業名	高津区防災まちづくり推進事業（局区連携事業）		
事業所管課	高津区役所危機管理担当			担当者	並木・柿木	連絡先	044-861-3146
関係局（局区連携事業は記載）	総務局、市民・こども局						

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>区災害対策本部の強化・充実</li> <li>自主防災組織・避難所運営会議の活性化</li> <li>区民ひとりひとりの防災意識の醸成</li> <li>さまざまな主体のネットワーク体制の構築</li> </ul>
事業概要	「自助」「共助」「公助」の観点から、またネットワークの強化の観点から、地域防災力向上を図る施策を実施し、災害に強い高津区のまちづくりを推進する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,994,000	決算額	1,990,800	不用額	3,200
不用の理由	契約差金				
事業目標	・高齢者等の災害弱者の避難所における防寒・居住性向上を図る。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	・大規模災害の発災を想定し、避難所生活を余儀なくされた高齢者や障害者等の避難所における生活を考慮し、厳冬期における防寒性の確保や、体育館等の硬い床面での居住性の向上を図るため、空気注入式の簡易防災マットを地域防災拠点に導入する。				
事業目標を達成する上での課題等	・居住性の確保や、長期間に渡る使用を想定し、仕様を策定し、適正に配備を行う。				
実績	・空気注入式の簡易防災マット2,000枚を地域防災拠点に導入した。				
協働の視点	・導入にあたっては、関連機関や自主防災組織と連携し、訓練等で試用・検証を行った。				
環境配慮への視点	・環境負担を考慮し、包材を簡素化したほか、廃棄時はプラスチック製容器包装の資源物としてリサイクルできる素材とする。				
取組の成果	必要資機材を地域防災拠点に配備することにより、災害時によりスムーズな本部活動・避難所運営が可能になるだけでなく、訓練等で有効活用することにより、区職員及び町会・自主防災組織等への防災に対する意識付けにも効果がある。				
	達成度	3			

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	・街区公園への防災かまどベンチやLPガスを利用する炊出しステーションのテスト導入・検証を行い、市全体の防災対策へフォードバックする。また、効率的・効果的な避難所運営のためのツールを検討・導入し、避難所運営会議の活性化を促す。さらに、大災害時発生時の駅前や主要道路の混乱を防ぐための帰宅困難者用の誘導ツールを検討・導入する。

# 平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	35	事業名	高津区防災まちづくり推進事業（区独自事業）		
事業所管課	高津区役所危機管理担当			担当者	並木・柿木	連絡先	044-861-3146
関係局（局区連携事業は記載）							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>区災害対策本部の強化・充実</li> <li>自主防災組織・避難所運営会議の活性化</li> <li>区民ひとりひとりの防災意識の醸成</li> <li>さまざまな主体のネットワーク体制の構築</li> </ul>
事業概要	「自助」「共助」「公助」の観点から、またネットワークの強化の視点から、地域防災力向上を図る施策を実施し、災害に強い高津区のまちづくりを推進する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,277,000	予算額（調整後）	1,423,000	決算額	811,912	不用額	611,088
不用の理由	当初、高津区防災まちづくり推進事業【需用費】で執行予定の「区地域防災計画印刷業務」を、地域防災力向上事業【委託料】で執行したため。 （需用費）高津区子ども・子育て支援事業費から103,000円、高津区子ども・子育て情報発信事業費から90,000円を流用。 （委託料）地域防災力向上事業費へ47,000円を流用						
事業目標	・大災害発生時に、区役所庁舎が区災害対策本部として機能すること。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎内のキャビネット類等を調査し、危険箇所については転倒防止対策を施す。</li> <li>区の活動要員が夜間の作業に従事できるような光源を確保する。</li> </ul>						
事業目標を達成する上での課題等	・過去に対策を施した箇所も経年で劣化をするため、再度調査をする必要がある。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎内のキャビネット類を中心に詳細な調査をし、危険箇所について転倒防止対策を施した。</li> <li>区の活動要員が夜間の作業に従事できるよう、ヘッドライトを導入し、必要な職場に配備した。</li> </ul>						
協働の視点							
環境配慮への視点							
取組の成果	・庁舎内の危険箇所の解消や、夜間作業用資機材の導入により、区災害対策本部の強化・充実が図れた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	・区民向け啓発事業については、効果的に、より多くの人への啓発につながるよう今年度の結果を検証しながら、時期や場所、内容について再度検討し、実施する。（事業の枠組みとして「地域防災力向上事業」から「高津区防災まちづくり推進事業」へ移管する。）また、対象の属性や立場を考慮した防災関連情報の発信を図るため、女性の視点を活かした防災をテーマに啓発手法を検討・実施する。さらに4年目を迎える区防災ネットワーク会議の継続実施にあたり、より効果的で円滑な運用を目指し、一部事業の委託化を行う。